

先の 10 月 19 日(日)に行われた平成 20 年秋の情報処理技術者試験について,先月発表された基本情報/初級シスアド試験を除く 7 試験の合格発表がありました。同時に発表されたスコア分布などの統計データをもとに,テクニカルエンジニア(ネットワーク)試験の合格発表コメントをお知らせします。

テクニカルエンジニア(ネットワーク)試験(NW)

[平成 20 年秋期のテクニカルエンジニア(ネットワーク)試験 統計情報]

応募者	24,182 人
受験者	15,117 人
合格者	1,664 人
合格率	11.0%

今回の平成 20 年秋試験では,昨年同時期の平成 19 年秋の試験に比べ応募者が 700 人ほど減少しました。合格率は前回最高だった 12.6%から減少して,11.0%でした。今回の試験の傾向や特徴をまとめると,次のようになります。

[午前問題]

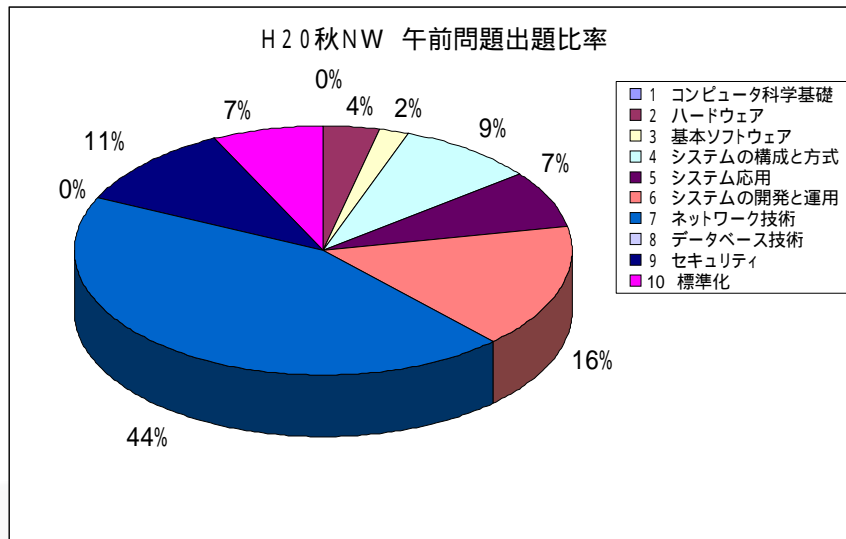
- ・過去問題の比率は 7 割弱でした。従来は,過去のネットワーク試験からの出題が多かったのですが,今回は 10 問程度しかありませんでした。また,内容も詳細な技術知識を必要とする問題はほとんどなく,全体に普通かやや易しい問題だったといえます。
- ・新傾向または新しい用語に関する問題は次のとおりです。

- 問 5 NAS の利用に関する説明
- 問 6 オーバレイネットワーク
- 問 9 ロードバランサの基本機能
- 問 21 Web のアクセシビリティ
- 問 32 SPF の経路
- 問 38 IP 電話の音声帯域
- 問 40 10G ビットイーサネットの特徴
- 問 43 DNS の資源レコード
- 問 44 STP で選択される経路
- 問 52 共通フレーム 2007 の目的
- 問 53 JIS Q 27002:2006

前回新傾向と言える問題は 6 問程度でしたので,少し増えたと思います。

内容的な特徴としては,ネットワーク分野の問題が減り,コンピュータシステム,セキュリティと標準化分野の問題が増えています。また,専門分野では,TCP/IP 関連問題が減り,LAN 関連問題が増えました。なお,前回に続き,トラフィック計算問題がありませんでした。NW 専門分野 24 問は,インターネット関連が 12 問,LAN 系が 6 問,計算問題が 4 問,その他(HDLC, WDM)が 2 問という構成です。

平成 20 年秋期のテクニカルエンジニア（ネットワーク）試験 午前問題出題比率



〔午後問題〕

- ・午後 問題の出題分野とテーマは次のとおりで、問 4 がやや難しい問題でした。

問 1 電子メールの誤送信対策

DNS の仕組み，圧縮装置の動作

問 2 遠隔地へのバックアップ

IP-SAN，SONET のリング構成，ディザスタリカバリ，RPO，RTO

問 3 ネットワークにおけるスループットの改善

WAN を経由したときに発生する遅延時間の要因，WAN 高速化装置

問 4 ネットワークの冗長化

OSPF，VLAN

- ・午後 問題の出題分野とテーマは次のとおりで、問 2 がやや難しい問題といえます。

問 1 分散オフィスの構築

IPsec VPN，ソフト NIC，IPsec の NAT トラバース機能 PC の仮想化，SSL の相互認証，DHCP リレーエージェント機能，IEEE802.1X 認証

問 2 ネットワークシステムの変更

IP 通信の仕組み，VoIP 技術，ファイアウォールの設定，SIP

全体としては午後 ，午後 問題ともに、一部難しい設問を含んでいますが、難易度は例年並みだったといえます。

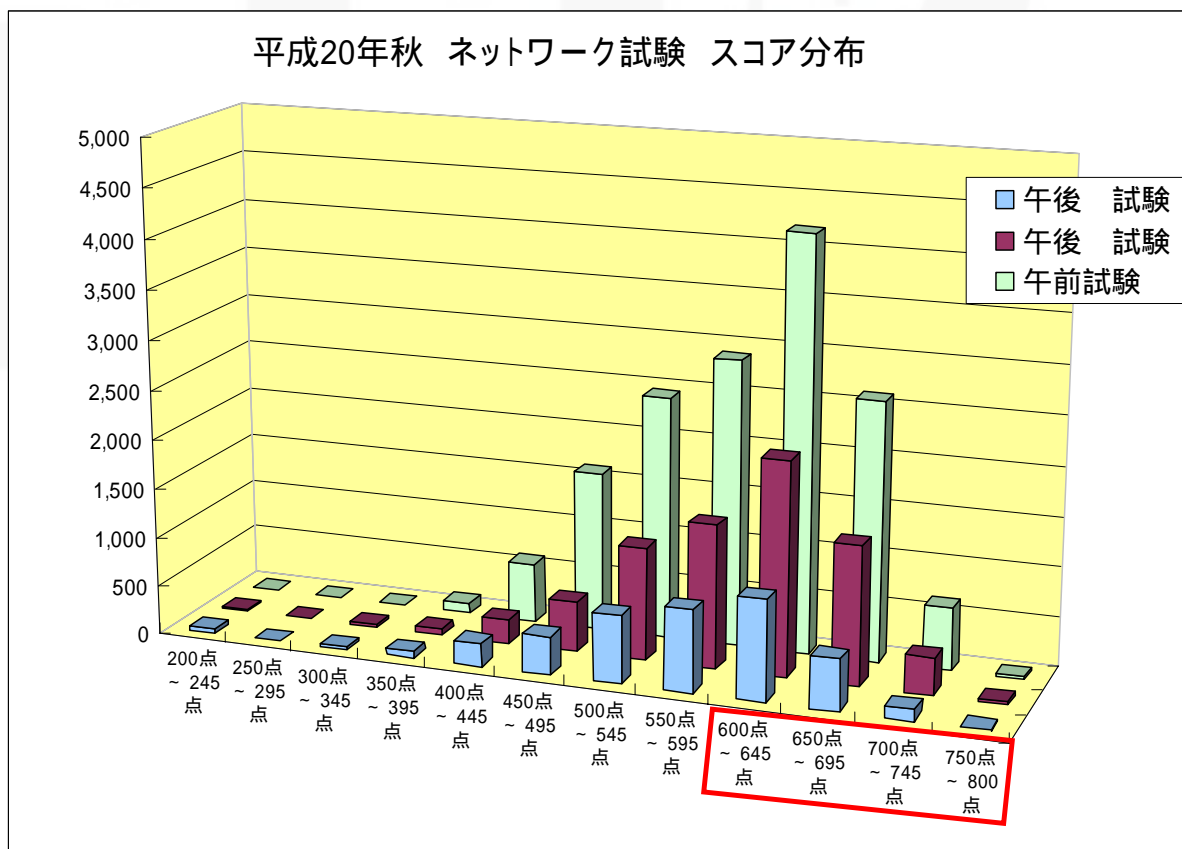
発表されたテクニカルエンジニア（ネットワーク）試験のスコア分布をグラフと合わせて示すと、次のようになります。

[平成 20 年秋 テクニカルエンジニア(ネットワーク)試験 スコア分布]

H20-NW	応募者	受験者	合格者
人数	24,182	15,117	1,664
率		62.5%	11.0%

スコア	午前試験	午後 試験	午後 試験	合格者
200点 ~ 245点	1	18	38	0
250点 ~ 295点	0	6	8	0
300点 ~ 345点	6	24	32	0
350点 ~ 395点	100	60	70	0
400点 ~ 445点	593	238	235	0
450点 ~ 495点	1,610	509	387	0
500点 ~ 545点	2,450	1,140	683	0
550点 ~ 595点	2,892	1,443	827	0
600点 ~ 645点	4,184	2,156	1,013	1,664
650点 ~ 695点	2,619	1,395	518	
700点 ~ 745点	632	376	120	
750点 ~ 800点	30	31	13	
計	15,117	7,396	3,944	
対前試験比率		48.9%	53.3%	42.2%

合格者数	1,664	採点者数の割合	合格者数との差
午前 600 以上合計	7,465	49.4%	5,801
午後 600 以上合計	3,958	53.5%	2,294
午後 600 以上合計	1,664	42.2%	0



ここで、午前試験で合格基準点のスコア 600 以上の人が 7,465 人(受験者の 49.4%)、午後 で合格基準点のスコア 600 以上を超えている人が 3,958 人(同 53.5%)、午後 で合格基準点のスコア 600 以上を超えた合格者が 1,664 人(同 42.2%)います。午後、午後試験は、問題の難易度が高いと、600 スコア以上になる人が 4 割程度しかないときがありましたので、今回の試験は午後試験は普通レベル、午後試験は「やや難」であったことが統計情報で分かります。

午後の試験で合格スコアに至らなかった方は、今後の対策として、「午前試験で出題される専門知識の理解度をまず上げる」ことが大切だと言えます。

(今回合格された方へ)

合格された方で来春のプロジェクトマネージャ、データベーススペシャリスト、システム監査技術者などの試験を受けられる方は、試験の出題範囲が大きく変わりますので、早めに学習することが必要です。高度系試験は、すべての午前試験が同じで、試験範囲に追加された分野として、情報に関する「基礎理論」や「システム戦略・経営戦略」などがあります。これらの内容については、早めに学習して出題ポイントをおさえる必要があります。

また、午後が論文試験になるものを受験される予定の方は、合格するために第三者の論文添削が欠かせません。弊社の通信教育では必要なテキスト、模擬試験に加え、論文添削も行っていますので、ぜひご利用ください。

アイテックでは新試験制度に合わせて、通信教育で使用する基本的なテキスト、予想問題集、本試験問題集、午後試験対策本などを新たに改訂しました。これらの書籍は書店でもご購入いただけます。また、試験対策を受験対策のプロ講師がセミナーで行う「合格ゼミ」は好評を頂いており特にお勧めで、一人で試験勉強がなかなか進まない方に、ぜひお勧めしたい講座です。

通信教育コースでは、午前試験対策テキスト、テスト(論文あり試験では添削含む)をすべて含んだ標準学習期間 6 か月の「総合コース」と、問題演習を中心に行うための最新問題集と模擬テスト(2 回)を含んだ標準学習時間 3 か月の「短期コース」など、教育メニューをたくさん用意しておりますので、ぜひご利用ください。

(今回残念ながら不合格だった人)

今回の午前試験のスコアが 500 点～595 点の人は、合格スコアの 600 までほんとうに“あと一歩”のところまで実力が来ていますので、身に付けた知識が薄れないうちに、早めに次回試験の対策を始めましょう。

また、午後試験のスコアが 600 点に満たなかった人は、確実な解答を出すために、落ち着いて問題を解き、解答が正しいかを検証する力を付けましょう。時間を決めた問題演習やアイテックの模擬試験を会場で受けるなど、試験会場の環境を考えたいうえで問題を解く訓練を行うのが有効です。

この他、アイテックで出版している「応用情報・高度に出る午前共通知識問題」や「予想問題集」、試験対策を受験対策のプロ講師がセミナーで行う「合格ゼミ」、通信教育コースでは、午前試験対策テキスト、テスト(論文あり試験では添削含む)をすべて含んだ標準学習期間 6 か月の「総合コース」と、問題演習を中心に行うための最新問題集と模擬テスト(2 回)を含んだ標準学習時間 3 か月の「短期コース」など、教育メニューをたくさん用意しておりますので、ぜひご利用ください。

各コースの内容は弊社のホームページからご覧いただけます。

<http://www.itec.co.jp/>

(以上)

Copyrights by ITEC,Inc. 2008